

後天性免疫發生機轉ノ實驗的研究

第4報 軟膏貼用時間ガ48時間ノ場合

京都帝國大學醫學部外科學研究室(鳥潟教授指導)

大學院學生 醫學士 八 田 捨 二

Experimentelle Erforschung über die erworbene Immunität.

IV. Mitteilung: Ueber die 48 stündige Applikation der Koktigensalben.

Von

Dr. S. Hatta.

[Aus dem Laboratorium der Kais. Chir. Universitätsklinik Kyoto

(Prof. Dr. R. Torikata.)]

Die in der I. Mitteilung verwendeten Testmaterialien wurden ceteris paribus 48 Stunden lang appliziert, um die Erwerbung der lokalen Immunität zu prüfen.

Zusammenfassung.

1. Der Index des gegen Staphylokokken gerichteten Opsonins war:

1,0 bei der Normalhaut,

1,19-1,25 bei der Bouillonsalbe-Haut,

1,35-1,39 bei der Staphylokokkenkoktigensalbe-Haut und

1,38-1,37 bei der Pneumokokkenkoktigensalbe-Haut.

Daraus geht hervor, dass sowohl Bouillon als auch Pneumokokkenkoktigen im Stande sind, das gegen Staphylokokken gerichtete Opsonin auszulösen. Dies ist nichts anderes als die durch unspezifische Lipoproteinkörper hervorgerufene Immunität.

2. Der Index des gegen Pneumokokken gerichteten Opsonins war dabei;

1,0 bei Normalhaut,

0,96 bei Bouillonsalbe-Haut,

0,96-1,14 bei Staphylokokkenkoktigensalbe-Haut und

1,51-1,66 bei Pneumokokkenkoktigensalbe-Haut.

Hier stellte es sich heraus, dass der Grad der erworbenen spezifischen Immunität am schwächsten bei den nicht mikrobiotischen Lipoproteinkörpern, etwas stärker bei

den ungleichnamigen mikrobiotischen Lipoproteinkörpern und am grössten und am stärksten bei den homologen mikrobiotischen Lipoproteinkörpern (Koktigenen) herbeigeführt wird.

Der Grad der Immunität gegen Staphylokokkeninfektion verschiedener Hautstellen lässt sich aus der im folgenden angegebenen Grösse der entzündlichen Infiltration taxieren :

- 1,3 × 1,2 cm bei Normalhaut,
- 1,1 × 1,1 cm bei Bouillonsalbe-Haut,
- 1,5 × 1,3 cm bei Pneumokokkenkoktigensalbe-Haut und
- 1,5 × 1,3 cm bei Staphylokokkenkoktigensalbe-Haut.

Angesichts dieser Tatsache können wir nicht immer behaupten, dass die Hautstellen mit einem grösseren Opsoningehalt ausnahmslos eine grössere Resistenz gegen die homologe Infektion aufweisen müssen als die mit einem kleineren Opsoningehalt.

(Autoreferat)

1. 緒言——實驗ノ目的

既ニ余等ハ鳥潟教授沈澱計3度目(0.0021坵)ノ菌量ヨリ出發セル黃色葡萄狀球菌_レコクチゲン_ヲ軟膏ヲ24時間貼用スルコトニヨリテ局所皮膚ハ明白ニ自働的局所免疫ヲ獲得スルコトヲ立證セリ。(第1報)

本業績ニ於テハ兩他同一條件ノ下ニテ_レコクチゲン_ヲ軟膏貼用時間ヲ48時間ト爲ス時ハ果シテ如何ノ免疫程度ヲ獲得スルヤヲ實驗結果ニ匡サント欲ス。

2. 實驗材料及ビ實驗方法

凡テ第1報ト同一ニ行ヒタリ。唯ダ_レコクチゲン_ヲ軟膏貼用時間ガ第1報ニテハ24時間ナリシモノヲ本報告ニ於テハ48時ニ延長シタルノミノ差ナリ。

實驗 第 1 (A 群)

_レコクチゲン_ヲ軟膏ヲ貼用セル局所皮膚内ニ產生セラレタル_レオブソニン_ヲノ係數
検査ノ結果ハ第1表ヨリ第4表マデ及ビ第1圖ヨリ第4圖マデニ示サレタリ。

第 1 表 黃色葡萄狀球菌_レコクチゲン_ヲ軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル
特殊_レオブソニン_ヲノ立證 (第1圖參照)

家兔第68號 體重1810 ♀ 12月21日

可 檢 物	喰		菌		子		喰菌率		オブソニン係數	
	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺
食 鹽 水	5	2	12	6	17	8	0.12	0.06	0.42	0.46
血 清	17	4	32	8	49	12	0.32	0.08	1.14	0.61

健 康 無 處 置	16	5	28	13	44	18	0.28	0.13	1.00	1.00
皮膚浸出液										
中性肉汁軟膏塗擦部	19	5	35	11	54	16	0.35	0.11	1.25	0.84
皮膚浸出液										
肺炎菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	22	9	38	18	60	27	0.38	0.18	1.35	1.38
黄色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	20	5	41	11	61	16	0.41	0.11	1.46	0.84

抗 菌 = 抗黄色葡萄狀球菌_L オプソニン⁷

抗 肺 = 抗肺炎菌_L オプソニン⁷

喰 菌 率 = 凡テノ白血球100ニ於ケル_L菌⁷數ノ割合

_L オプソニン⁷係數 = 健康無處置皮膚ニ於ケル喰菌率ヲ基準トセル喰菌率ノ比(以下準之)

第 2 表 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル

特殊_L オプソニン⁷ノ立證 (第2圖参照)

家兎第79號 體重1850 ♀ 12月21日

可 檢 物	喰		菌		子		喰 菌 率		_L オプソニン ⁷ 係 數	
	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺
食 鹽 水	5	2	12	6	17	8	0.12	0.06	0.41	0.66
血 清	14	3	27	7	41	10	0.27	0.07	0.92	0.77
健 康 無 處 置	15	4	29	9	44	13	0.29	0.09	1.00	1.00
皮膚浸出液										
中性肉汁軟膏塗擦部	23	6	35	12	58	18	0.35	0.12	1.20	1.33
皮膚浸出液										
肺炎菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	25	6	46	13	71	19	0.46	0.13	1.58	1.44
黄色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	17	5	31	12	48	17	0.31	0.12	1.06	1.33

第 3 表 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル

特殊_L オプソニン⁷ノ立證 (第3圖参照)

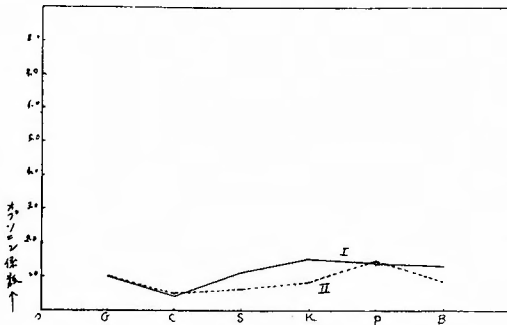
家兎第98號 體重1850 ♀ 12月21日

可 檢 物	喰		菌		子		喰 菌 率		_L オプソニン ⁷ 係 數	
	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺	抗菌	抗肺
食 鹽 水	5	2	12	6	17	8	0.12	0.06	0.46	0.54
血 清	16	3	29	7	45	10	0.29	0.07	1.11	0.64
健 康 無 處 置	16	5	26	11	42	16	0.26	0.11	1.00	1.00
皮膚浸出液										
中性肉汁軟膏塗擦部	21	4	34	8	55	12	0.34	0.08	1.30	0.72
皮膚浸出液										
肺炎菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	18	9	32	19	50	28	0.32	0.19	1.23	1.72
黄色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	17	4	40	9	57	13	0.40	0.09	1.53	0.81

第4表 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏48時間貼用表皮局所ニ產生セラレタル
特殊_Lオブソニン⁷ノ立證 (3頭平均第4圖參照)

檢 査	抗 黄 色 葡 萄 狀 球 菌 _L オブソニン ⁷			抗 肺 炎 菌 _L オブソニン ⁷		
	喰菌子	喰菌率	係 數	喰菌子	喰菌率	係 數
食鹽水 (可檢液ヲ添加セザル場合)	17	0.12	0.43	8	0.06	0.55
血 清	45	0.29	1.05	10	0.07	0.67
健 常 皮 膚	43	0.27	1.00	15	0.11	1.00
巾性肉汁軟膏貼用部皮膚	55	0.34	1.25	15	0.10	0.96
肺炎菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏貼用部皮膚	60	0.38	1.38	24	0.16	1.51
黄色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏貼用部皮膚	55	0.37	1.35	15	0.10	0.99

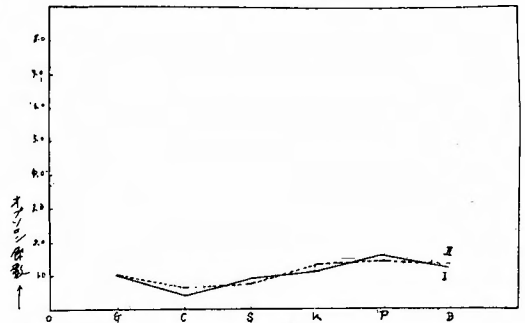
第1圖 (家兔 No. 68)

I = 抗黄色葡萄狀球菌_Lオブソニン⁷II = 抗肺炎菌_Lオブソニン⁷

G = 健常皮膚

C = 0.85%食鹽水 (可檢液ヲ添加セザル場合)

第2圖 (家兔 No. 79)



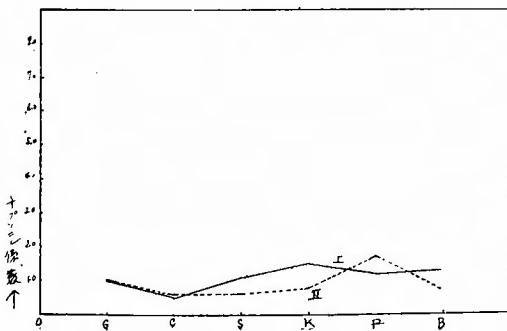
S = 血 清

K = 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏貼用部皮膚P = 肺炎菌_Lコクチゲン⁷軟膏貼用部皮膚

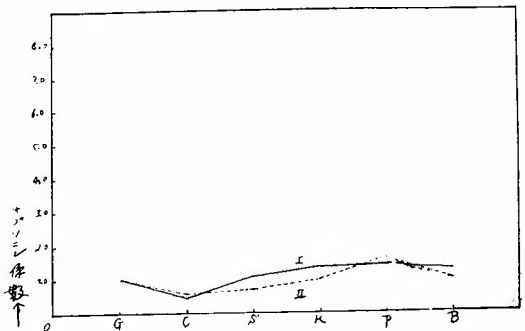
B = 中性肉汁軟膏貼用部皮膚

(以 下 準 之)

第3圖 (家兔 No. 98)



第4圖 (3頭平均)



所 見 概 括

1. 「コクチゲン」軟膏48時間貼用ノ場合ニ於テモ24時間貼用ノ場合(第1報)ノ如クニ同様ニ貼用局所皮膚内ニ顯著ナル抗黃色葡萄狀球菌「オプソニン」ノ產生ヲ立證シ得タリ。即チ此等ノ皮膚内ニ含有セラレタル「オプソニン」量ハ無前處置健康皮膚内ノ「オプソニン」ヨリモ著シク大ナリキ。

2. 此際3頭分平均ニ於テハ黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏貼用部皮膚ノ「オプソニン」係數ハ肺炎菌「コクチゲン」軟膏貼用部ト同値ニシテ健康皮膚ヨリモ顯著ニ大ナリキ。(第4表及ビ第4圖參照)

3. 次ニ皮膚局所ノ抗黃色葡萄狀球菌「オプソニン」ノ係數ヲ順序ニ從テ記セバ下ノ如シ。

健康皮膚(1.0) < 中性肉汁軟膏皮膚(1.25) < 黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏皮膚(1.35) < 肺炎菌「コクチゲン」軟膏皮膚(1.38)

4. 抗肺炎菌「オプソニン」ノ產生ニ就テハ下ノ關係ヲ示シタリ。

健康皮膚(1.0) > 中性肉汁軟膏皮膚(0.96) < 黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏皮膚0.99 < 肺炎菌「コクチゲン」軟膏皮膚(1.51)

即チ此ノ場合ニテハ中性肉汁ノ如キ非細菌性蛋白體ヨリモ異名菌ヨリノ蛋白群脂體(「コクチゲン」), マタ異名菌蛋白類脂體ヨリモ同名菌蛋白類脂體(「コクチゲン」)ノ方ガ特殊「オプソニン」ノ最大產生ヲ來スモノタルコトガ立證セラレタリ。

實 驗 第 2 (B 群)

「コクチゲン」軟膏貼用皮膚ノ實驗的感染結果

實驗結果ハ第5表ヨリ第7表マデニ示サレタリ。(第5-第7表ハ卷末ニ掲載セリ)

所 見 概 括

實驗第1ト同一ニ前處置シタル試獸ノ他ノ1群(B群)ニ就テ同一ノ生活黃色葡萄狀球菌浮游液ノ1.0兎(含菌量0.00035兎)ヲ皮内ヘ注射シテ局所皮膚ノ感染程度ヲ檢シタルニ左ノ所見ヲ得タリ。

1. 無前處置健康皮膚ニシテ3頭ノ試獸中最大硬結ハ1.3×1.2 糎(家兎第39號)ニシテ排膿全治迄ニ14日ヲ要セリ。

2. 中性肉汁軟膏貼用皮膚ニテ3頭ノ試獸中最大硬結ハ1.1×1.1 糎(家兎第122號)ニテ排膿全治迄ニ14日ヲ要シタリ。

3. 肺炎菌「コクチゲン」軟膏貼用部ニテハ3頭ノ試獸中最大硬結ハ1.5×1.3 糎(家兎第122號)ニシテ排膿全治迄ニ14日ヲ要シタリ。

4. 黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏貼用部ニテ3頭ノ試獸中最大硬結ハ1.5×1.3 糎(家

兎第37號)ニシテ排膿全治迄ニ14日ヲ要シタリ。

即チ(1)ニ示シタルガ如ク抗黃色葡萄狀球菌_Lオブソニン⁷ハ肺炎菌_Lコクチゲン⁷軟膏貼用皮膚ニテモ又ハ黃色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏貼用皮膚ニテモ共ニ殆ンド同一程度ナリシガ感染實驗ノ結果モ亦タソレニ一致シ、何レモ殆ンド同程度ナリキ。併シナガラ之ヲ正常皮膚乃至肉汁軟膏貼用皮膚ノ抗黃色葡萄狀球菌感染程度ニ比較スルニ明白ニ感染ニヨル硬結ノ範圍大ナリキ這ハ免疫程度ノ大ナル證左ト爲スベキカ或ハ却テ免疫程度ノ小ナル標徴トナスベキカ今遽カニ判定シ得ザルモノナリ。

實驗 第 3 (C 群)

「コクチゲン」軟膏ヲ貼用セル皮膚内ニ產生セラレタル「オブソニン」係數ト當該皮膚感染程度トノ相互關係

實驗結果ハ第8表ヨリ第11表(第5圖ヨリ第8圖迄)及ビ第12表ヨリ第14表迄ニ示サレタリ。

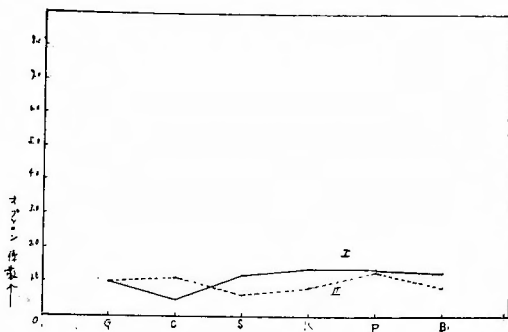
(第12-14表ハ卷末ニ掲載セリ)

第 8 表 黃色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル特殊_Lオブソニン⁷ノ立證 (第5圖參照)

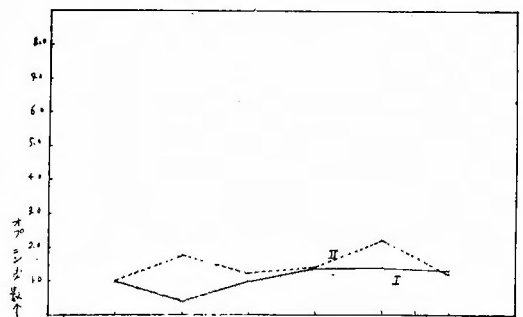
家兎第115號 體重2350 ♂ 12月19日

可 檢 物	喰		菌		子		喰菌率		「オブソニン」係數	
	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺
食 鹽 水	5	4	13	16	18	20	0.13	0.16	0.48	1.14
血 清	18	5	33	9	51	14	0.33	0.09	1.22	0.64
健康無處置皮膚浸出液	17	6	27	14	44	20	0.27	0.14	1.00	1.00
中性肉汁軟膏塗擦皮膚浸出液	19	7	34	12	53	19	0.34	0.12	1.25	0.85
肺炎菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦皮膚浸出液	22	8	39	19	61	27	0.39	0.19	1.44	1.35
黃色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷ 軟膏塗擦皮膚浸出液	21	5	38	12	59	17	0.38	0.12	1.40	0.85

第5圖 (家兎 No. 115)



第6圖 (家兎 No. 20)



第 9 表 黄色葡萄状球菌_Lコクチゲン¹軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル
特殊_Lオブソニン¹ノ立證 (第6圖参照)

家兎第20號 體重2200 g 12月19日

可 檢 物	喰		菌		子		喰菌率		オブソニン ¹ 係數	
	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺
食 鹽 水	5	4	13	16	18	20	0.13	0.16	0.44	1.77
血 清	17	7	30	11	47	18	0.30	0.11	1.03	1.22
健康無處置液	14	4	29	9	43	13	0.29	0.09	1.00	1.00
中性肉汁軟膏塗擦部 皮膚浸出液	21	6	37	11	58	17	0.37	0.11	1.27	1.22
肺炎菌 _L コクチゲン ¹ 軟膏 塗擦部皮膚浸出液	21	9	41	20	62	29	0.41	0.20	1.41	2.22
黄色葡萄状球菌 _L コクチゲ ン ¹ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	19	6	42	13	61	19	0.42	0.13	1.44	1.44

第10表 黄色葡萄状球菌_Lコクチゲン¹軟膏48時間貼用皮膚局所ニ生産セラレタル
特殊_Lオブソニン¹ノ立證 (第7圖参照)

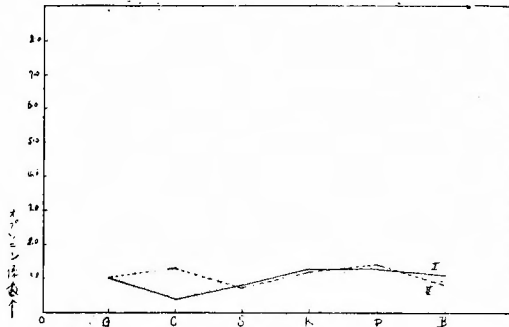
家兎第74號 體重2500 12月19日

可 檢 物	喰		菌		子		喰菌率		オブソニン ¹ 係數	
	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺	抗葡	抗肺
食 鹽 水	5	4	13	16	18	20	0.13	0.16	0.43	1.33
血 清	14	4	25	9	39	13	0.25	0.09	0.80	0.75
健康無處置液	19	5	30	12	49	17	0.30	0.12	1.00	1.00
中性肉汁軟膏塗擦部 皮膚浸出液	19	5	32	10	51	15	0.32	0.10	1.06	0.83
肺炎菌 _L コクチゲン ¹ 軟膏 塗擦部皮膚浸出液	18	7	38	17	56	24	0.38	0.17	1.26	1.41
黄色葡萄状球菌 _L コクチゲ ン ¹ 軟膏塗擦部皮膚浸出液	19	4	40	15	59	19	0.40	0.15	1.33	1.25

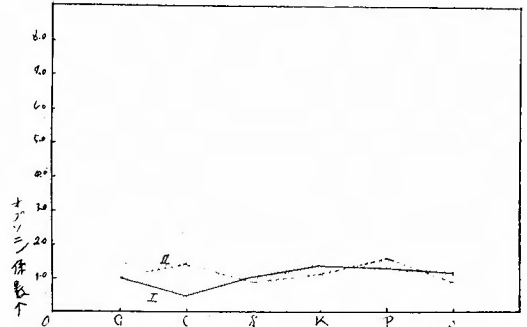
第11表 黄色葡萄状球菌_Lコクチゲン¹軟膏48時間貼用表皮局所ニ生産セラレタル
特殊_Lオブソニン¹ノ立證 (3頭平均 第8圖参照)

檢 査	抗黄色葡萄状球菌 _L オブソニン ¹			抗肺炎菌 _L オブソニン ¹		
	喰菌子	喰菌率	係數	喰菌子	喰菌率	係數
食 鹽 水 (可檢液ヲ添加セザル場合)	18	0.13	0.45	20	0.16	1.41
血 清	45	0.29	1.01	15	0.09	0.87
健 常 皮 膚	45	0.28	1.00	16	0.11	1.00
中 性 肉 汁 軟 膏 貼 用 部 皮 膚	54	0.34	1.19	17	0.11	0.96
肺炎菌 _L コクチゲン ¹ 軟膏 貼 用 部 皮 膚	59	0.39	1.37	26	0.18	1.66
黄色葡萄状球菌 _L コクチゲ ン ¹ 軟膏貼用部皮膚	59	0.40	1.39	18	0.13	1.18

第7圖 (家兎 No. 74)



第8圖 (3頭平均)



所見概括

1. 各部ノ皮膚ハ下ノ如キ順序ニ於テ抗黄色葡萄狀球菌_L オプソニン⁷ (係數) ノ増強ヲ示シタリ。

健常皮膚(1.00) < 中性肉汁軟膏貼用部皮膚(1.19) < 肺炎菌_L コクチゲン⁷ 軟膏貼用部皮膚(1.37) < 黄色葡萄狀球菌_L コクチゲン⁷ 軟膏貼用部皮膚(1.39)

即チ同名菌_L コクチゲン⁷ 軟膏貼用部皮膚ハ最大ノ_L オプソニン⁷ ヲ產生シタリ。

2. 同時ニ抗肺炎菌_L オプソニン⁷ ノ產生ハ次ノ如キ_L オプソニン⁷ 係數ニテ明白ナリ。

健常皮膚(1.0) < 中性肉汁軟膏皮膚(0.96) < 黄色葡萄狀球菌_L コクチゲン⁷ 軟膏皮膚(1.18) < 肺炎菌_L コクチゲン⁷ 軟膏皮膚(1.66)

即チ此ノ場合ニアリテモ肺炎菌_L コクチゲン⁷ 軟膏皮膚ハ最大ノ抗肺炎菌_L オプソニン⁷ ヲ產生シ異名_L コクチゲン⁷ (葡萄狀球菌_L コクチゲン⁷) ハ稍々小ナル抗肺炎菌_L オプソニン⁷ 非細菌性ナル肉汁ハ最小ノ抗肺炎菌_L オプソニン⁷ ヲ產生セシメ非特殊性免疫ト特殊性免疫トノ差ガ十分ニ顯現セラレタリ。

3. 同一試獸同一皮膚局所ニ對シテ實驗的ニ黄色葡萄狀球菌ヲ以テ同一條件ノ下ニ感染ヲ行ヒタルニ3頭ノ試獸中何レニモ_L オプソニン⁷ 含量ノ最大ナリシ皮膚ガ同名菌ノ感染ニ對シ最大ノ抵抗力ヲ示ス結果トハナラザリキ。即チ此際ニハ_L オプソニン⁷ 含量ハ必ズシモ感染ニ對スル抵抗力(炎衝性浸潤ノ大小)ト一致セザリキ。

_L オプソニン⁷ 含量ト自働免疫トノ關係ニ就テ

皮膚局所ニ產生セラレタル_L オプソニン⁷ ノ大小ト當該皮膚ガ同名細菌ノ感染ニ對シテ示シタル抵抗力(免疫力)トノ間ニ如何ナル程度ニ相互關係ヲ認メ得ルカヲ一目瞭然タラシメンガ爲ニ實驗第3(C群)ノ結果ヲ概括シテ第15表ヲ得タリ。

第15表 皮膚局所ニ產生セラレタル_L オブソニン⁷(喰菌率)ノ大小ト當該皮膚局所
ノ特殊性自働免疫程度トノ相互關係

檢 家	査 免 番 號	抗 黃 色 葡 萄 狀 球 菌 _L オブソニン ⁷ (喰菌率)			黃色葡萄狀球菌感染程度(最大硬結)		
		115 號	20 號	74 號	115 號	20 號	74 號
健	常 皮 膚	0.27	0.29	0.30	1.1×1.1	1.8×1.5	1.2×1.2
	中 性 肉 汁 軟 膏 皮 膚	0.34	0.37	0.32	1.4×1.4	1.3×1.2	1.3×1.3
肺 炎 菌 _L コクチゲン ⁷	軟 膏 皮 膚	0.39	0.41	0.38	1.2×1.2	1.3×1.3	1.5×1.5
黃色葡萄狀球菌 _L コクチゲン ⁷	軟 膏 皮 膚	0.38	0.42	0.40	1.2×1.2	1.5×1.6	1.6×1.6

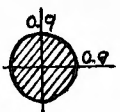
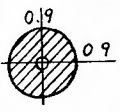
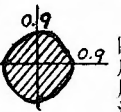
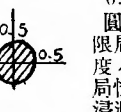
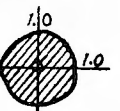
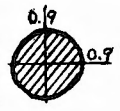
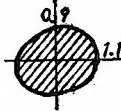
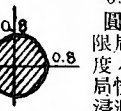
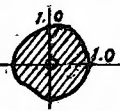
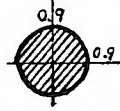
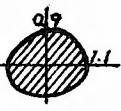
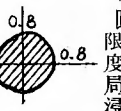
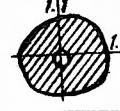
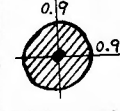
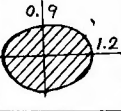
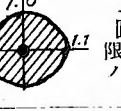
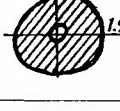
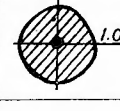
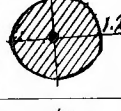
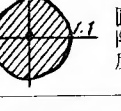
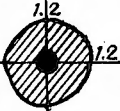
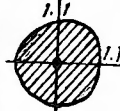
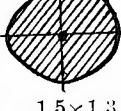
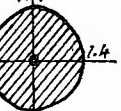
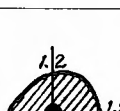
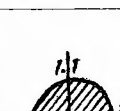
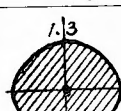
第15表ノ所見ニ據レバ抗黃色葡萄狀球菌_L オブソニン⁷含量ハ最大ナルモ同名菌ノ感染ニ
對シテ必ズシモ最大ノ抵抗力ヲ認メ得ザリキ。唯ダ家兔第20號ニ於テ此間ノ一致連行ヲ證
シ得タルノミナリ。

結 論

1. 健康皮膚ニ黃色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷軟膏ヲ貼用スル時間ガ48時間ニテモ其ノ局
所ノ皮膚ハ最大ノ同名_L オブソニン⁷ヲ含有スルニ至ルコトガ立證セラレタリ。
2. 此際最大ノ同名_L オブソニン⁷ヲ生産シタル皮膚ハ常ニ必ズシモ最大ノ同名菌感染ノ
抵抗力ヲ示サザリキ。

第 5 表

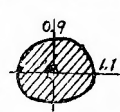
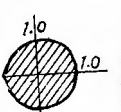
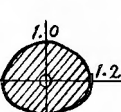
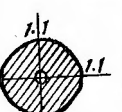
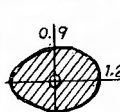
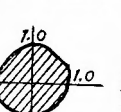
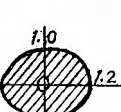
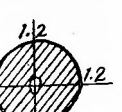
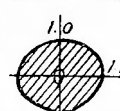
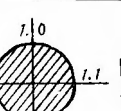
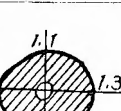
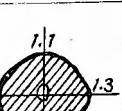
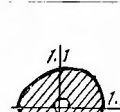
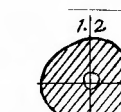
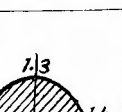
「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

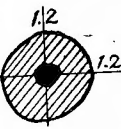
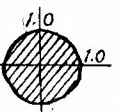
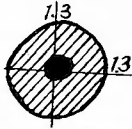
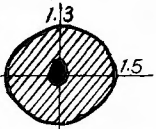
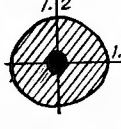
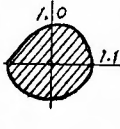
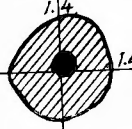
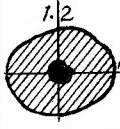
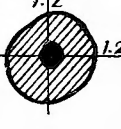
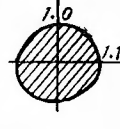
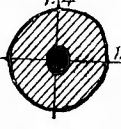
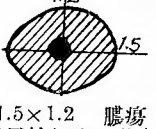
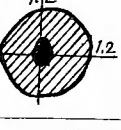
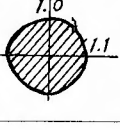
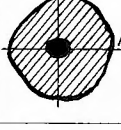
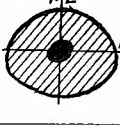
家兎番號122		體 重 2020	雌 雄 ♂	12月20日
20	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部	肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部	黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部
日	軟膏貼用48時間＝シテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0兎(菌體約0.00035兎)ヲ皮内へ注射ス			
21	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.5×0.5 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤
22	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 1.1×0.9 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.8×0.8 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤
23	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性輕度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 1.1×0.9 圓形丘疹 限局性輕度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.8×0.8 圓形丘疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤
24	 1.2×1.1 圓形膿疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形膿疹 限局性輕度 ノ發赤	 1.2×0.9 圓形丘疹 限局性輕度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 1.1×1.0 圓形膿疹 限局性輕度 ノ發赤
25	 1.2×1.1 圓形膿疹 限局性中等度 ノ發赤限局性 ノ硬キ浸潤	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性輕度 ノ發赤	 1.2×1.1 圓形膿疹 限局性輕度 ノ發赤	 1.1×1.1 圓形膿疹 限局性輕度 ノ發赤
26	 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.1×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.5×1.3 膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
27	 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.1×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5×1.3 膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
28	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤

29日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
30日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
31日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
1日	痂皮	痂皮	痂皮	痂皮
2日	痂皮	痂皮	痂皮	痂皮
3日	輕快	全治	輕快	全治

第 6 表

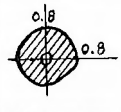
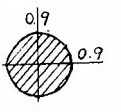
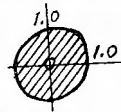
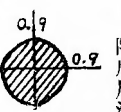
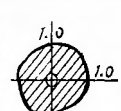
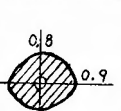
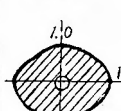
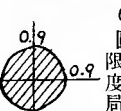
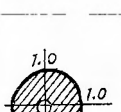
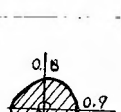
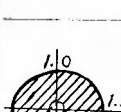
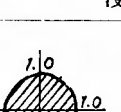
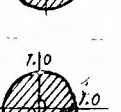
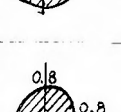
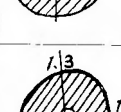
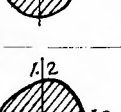
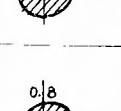
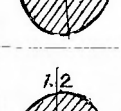
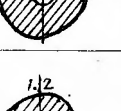
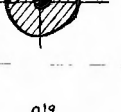
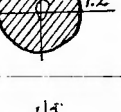
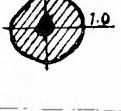
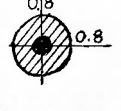
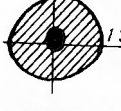
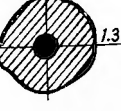
「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

家兎番號37		體 重 2030		雌 雄 ♂		12月20日	
20	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部	肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部	黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部			
日	軟膏貼用48時間ニシテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0缸(菌體約0.00035缸)ヲ皮内へ注射ス						
21	 1.1×0.9 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.2×1.0 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.1×1.1 圓形膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤			
22	 1.2×0.9 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.2×1.0 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.2×1.2 圓形膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤			
23	 1.2×1.0 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.1×1.0 圓形丘疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.3×1.1 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.3×1.1 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤			
24	 1.2×1.1 圓形膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.3×1.2 圓形膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤	 1.4×1.3 圓形膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性硬キ 浸潤			

25 日	 1.2×1.2 圓形膿瘍限 局性輕度ノ 發赤	 1.0×1.0 圓形膿瘍限 局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5×1.3 膿瘍 限局性輕度ノ發赤
26 日	 1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.1×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5×1.2 膿瘍 限局性輕度ノ發赤
27 日	 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.1×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5×1.2 膿瘍 限局性輕度ノ發赤
28 日	 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.1×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5×1.2 膿瘍限局 性輕度ノ發赤
29 日	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤
30 日	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤
31 日	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤
1 日	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤
2 日	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤	排 膿 輕度ノ發赤
3 日	輕 快	輕 快	輕 快	輕 快

第 7 表

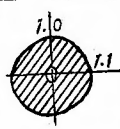
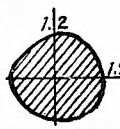
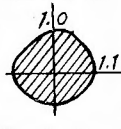
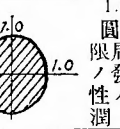
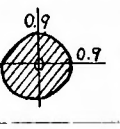
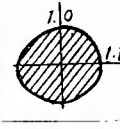
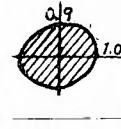
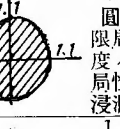
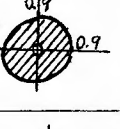
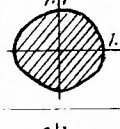
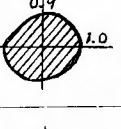
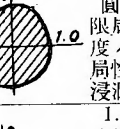
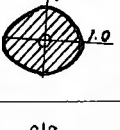
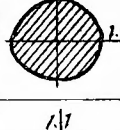
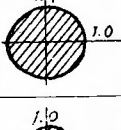
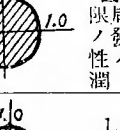
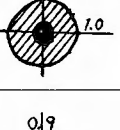
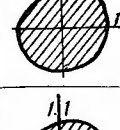
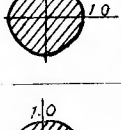
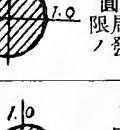
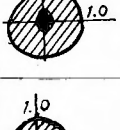
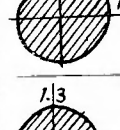
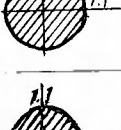
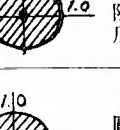
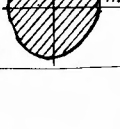
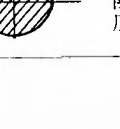
「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

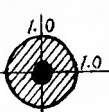
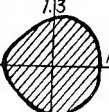
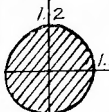
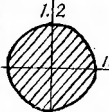
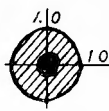
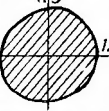
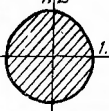
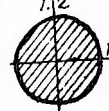
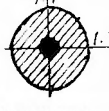
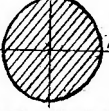
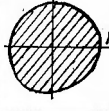
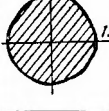
家兎番號81		體 重 2270	雌 雄 ♂	12月20日
20	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部	肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部	黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部
日	軟膏貼用48時間ニシテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0ㄔ(菌體約0.00035ㄔ)ヲ皮下内ヘ注射ス			
21	 0.8×0.8 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤
22	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.9×0.8 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.3×1.0 圓形膿疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.9×0.9 圓形丘疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤
23	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.9×0.8 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.3×1.0 圓形膿疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤
24	 1.0×1.0 圓形膿疹 限局性中等度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 0.8×0.8 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.3×1.3 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤	 1.2×1.2 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤
25	 1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 0.8×0.8 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.2×1.2 圓形膿疹 限局性輕度ノ 發赤限局性ノ 硬キ浸潤
26	 1.0×0.9 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 0.8×0.8 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤
27	 1.0×0.9 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 0.8×0.8 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤	 1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ 發赤
28	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤

29日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
30日	排膿	排膿	排膿	排膿
31日	全治	全治	全治	全治

第 12 表

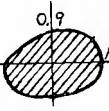
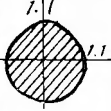
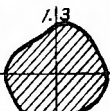
「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

家兎番號115		體 重 2350	雌 雄 ♂	12月19日
19	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部	肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部	黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部
軟膏貼用48時間＝シテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0㄄(菌體約0.00035㄄)ヲ皮内へ注射ス				
20日	 1.1×1.0 圓形膿疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.2×1.2 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.1×1.0 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤
21日	 0.9×0.9 圓形膿疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.1×1.0 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×0.9 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.1×1.1 圓形丘疹 限局性中等度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤
22日	 0.9×0.9 圓形膿疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.2×1.1 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×0.9 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×1.1 圓形丘疹 限局性中等度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤
23日	 1.0×0.9 圓形膿疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.2×1.1 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×0.9 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤	 1.0×1.0 圓形丘疹 限局性輕度ノ發赤限局性ノ硬キ浸潤
24日	 1.0×0.9 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.2×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
25日	 1.0×0.9 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.2×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.1×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
26日	 0.9×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.2×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.1×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤

27 日		1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤
28 日		1.0×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤
29 日		1.1×1.1 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤		1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤
30 日	排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤	
31 日	排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤		排 膿 輕度ノ發赤	
1 日	排 膿		排 膿 輕度ノ發赤		排 膿		排 膿	
2 日	排 膿		排 膿		排 膿		排 膿	
3 日	痂 皮		痂 皮		痂 皮		痂 皮	
4 日	痂 皮		痂 皮		痂 皮		痂 皮	
5 日	全 治		全 治		全 治		全 治	

第 13 表

「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

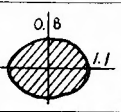
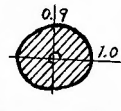
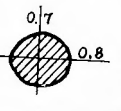
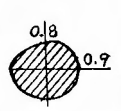
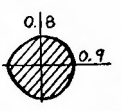
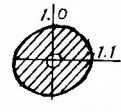
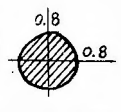
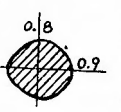
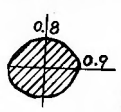
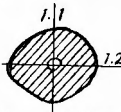
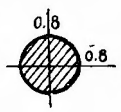
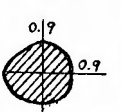
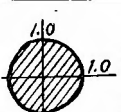
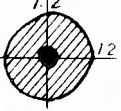
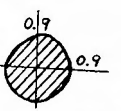
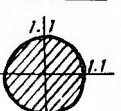
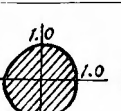
家兎番號20		體 重 2200		雌 雄 ♂		12月19日		
19	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部		肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部		黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部		
日	軟膏貼用48時間ニシテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0㏄(菌體約0.00035㏄)ヲ皮内ヘ注射ス							
20		1.3×0.9 丘疹 限局性輕度 ノ發赤限局 性浸潤		1.1×1.1 圓形丘疹 限局性輕度 ノ發赤限局 性浸潤	境界不明ノ腫脹 中度等ノ發赤			1.4×1.3 圓形丘疹 廣汎性高 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤
日								

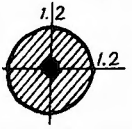
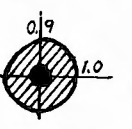
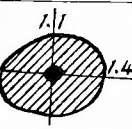
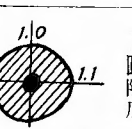
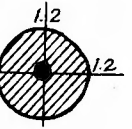
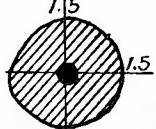
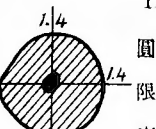
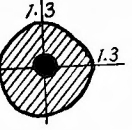
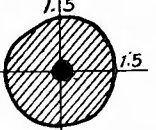
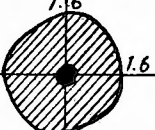
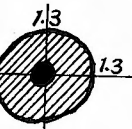
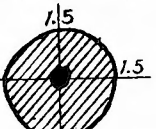
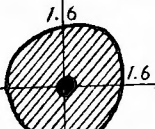
21 日	1.6×1.2 膿疹 限局性中等 度ノ發赤限 局性ノ硬キ 浸潤	1.1×1.1 圓形丘疹 限局性輕 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤	1.2×1.3 圓形丘疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.4×1.2 膿疹 限局性高 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤 炎症性浮 腫
22 日	1.4×1.2 膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.3×1.1 膿疹 限局性輕 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤	1.2×1.2 圓形膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.4×1.4 圓形膿疹 限局性高 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤 炎症性浮 腫
23 日	1.4×1.2 膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.3×1.1 膿疹 限局性輕 度ノ發赤 限局性ノ 硬キ浸潤	1.2×1.2 圓形膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.4×1.4 圓形膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤炎症性 浮腫
24 日	1.6×1.2 膿疹 限局性中 等度ノ發 赤限局性 ノ硬キ浸 潤	1.2×1.1 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性中 等度ノ發 赤
25 日	1.6×1.5 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.4×1.6 膿瘍 限局性輕 度ノ發赤
26 日	1.×1.4 膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.5×1.6 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤
27 日	1.8×1.5 膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.2 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤	1.5×1.6 圓形膿瘍 限局性輕 度ノ發赤
28 日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤

29日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
30日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
31日	排膿 輕度ノ發赤	排膿	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
1日	痂皮	痂皮	排膿	排膿 輕度ノ發赤
2日	痂皮	全治	全治	痂皮
3日	全治			全治

第 14 表

「コクチゲン」軟膏48時間貼用部皮膚ノ自働免疫程度ノ比較

家兎番號74		體 重 2500	雌 雄 ♂	12月19日
19日	無處置健康皮膚	中性肉汁軟膏塗擦部	肺炎菌「コクチゲン」軟膏塗擦部	黃色葡萄狀球菌「コクチゲン」軟膏塗擦部
軟膏貼用48時間ニシテ拭ヒ去リ生活黃色葡萄狀球菌液1.0㄄(菌體約0.00035㄄)ヲ皮内ヘ注射ス				
20日		境界不明ノ腫脹 輕度ノ發赤	境界不明ノ腫脹 輕度ノ發赤	境界不明ノ腫脹 輕度ノ發赤
21日				
22日				
23日				
24日				

25 日	 1.2 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 0.9 0.9×0.9 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.1 1.4×1.1 膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.0 1.1×1.0 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤
26 日	排膿 輕度ノ發赤	 1.2 1.2×1.2 圓形膿瘍 限局性輕度 ノ發赤	 1.5 1.5×1.5 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.4 1.4×1.4 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
27 日	排膿 輕度ノ發赤	 1.3 1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5 1.5×1.5 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.6 1.6×1.6 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
28 日	排膿 輕度ノ發赤	 1.3 1.3×1.3 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.5 1.5×1.5 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤	 1.6 1.6×1.6 圓形膿瘍 限局性輕度ノ發赤
29 日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
30 日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
31 日	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
1 日	輕快	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
2 日	輕快	排膿	排膿 輕度ノ發赤	排膿 輕度ノ發赤
3 日	全治	全治	全治	全治